

科目名	レクリエーション実技				担当	堤 裕美		
形態	演習	単位数	1	開講時期	2年後期	実務経験	—	
必修	レク：必修				ナンバリング	Y3802	DPとの関連	3・4
授業概要	参加者全員が楽しむことを目的とした「スポーツ・フォア・オール」の実現を目指し、幼児から高齢者まで全ての世代に向け、スポーツを媒介とした楽しさを伝えられるスポーツ観を養う。							
到達目標 学習成果	全ての年齢層、障害の有無に関わらずスポーツを楽しむ方法を実践し知識を習得する							
授業計画	回	内容						
	1	ガイダンス	コミュニケーションと信頼関係づくりの理論					
	2	レクリエーション支援の理論①	良好な集団づくりの理論					
	3	レクリエーション支援の理論②	自主的、主体的に楽しむ力を育む理論					
	4	レクリエーション支援の方法①	信頼関係づくりの方法・ホスピタリティ					
	5	レクリエーション支援の方法②	信頼関係づくりの方法・ホスピタリティ②					
	6	レクリエーション支援の方法③	信頼関係づくりの方法・ホスピタリティ③					
	7	レクリエーション支援の方法④	良好な集団づくりの方法・アイスブレイキング①					
	8	レクリエーション支援の方法⑤	良好な集団づくりの方法・アイスブレイキング②					
	9	レクリエーション支援の方法⑥	良好な集団づくりの方法・アイスブレイキング③					
	10	レクリエーション支援の方法⑦	自主的、主体的に楽しむ力を高める展開方法①					
	11	レクリエーション支援の方法⑧	自主的、主体的に楽しむ力を高める展開方法②					
	12	レクリエーション支援の方法⑨	自主的、主体的に楽しむ力を高める展開方法③					
	13	レクリエーション活動の習得①	モデル・プログラムの習得①					
	14	レクリエーション活動の習得②	モデル・プログラムの習得②					
15	レクリエーション活動の習得③	モデル・プログラムの習得③						
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々なレクリエーション活動に主体的に関わり、「楽しむ」人間の心理や行動、集団内に起こる相互作用に気づくことができる</li> <li>対象の特性や、状況等に応じて活動内容を工夫したり、実施者への配慮ができる</li> </ul>							
評価方法	授業態度 40% レポート 30% その他 30% (対人関係能力)							
フィードバック 方法	授業内での課題は毎授業返却し、学生間の共有も図る							
アクティブ ラーニング	活動の計画、実践及び映像によるふりかえりを行う							
教科書	各種目のルールブックなど、適宜授業内で配布する							
参考書	必要に応じて指示する							
履修条件	レクリエーション・インストラクター資格取得のための必修科目である 積極的に他者との関わりをもち、企画能力を身につけること							
授業外学習	事前学習：支援者として他者との関わり方、アプローチの仕方、またアシストをどの様に出来るかを考える 事後学習：授業で実践したあそびのアレンジを考え、次週実践できるようにする							
オフィスアワー	学生支援課を通じた対応（授業前後の対応可能）							